

メロン

担当者 技能研究員 深海 健太郎

試験課題名	品種系統選定試験
目的	本町に適した多収・高品質の品種を選定するため比較検討し普及に資する
期待される成果	優良品種の導入により、生産の安定と経済性の向上を図る
連携機関	上川農業改良普及センター士別支所、JA北ひびき和寒基幹支所 和寒町蔬菜組合連合会果菜部会

1 供試品種・資材

品種

※摩周グリーン（八江） シャロン2号（ナント） ライフ7号（大学農園）
ルピアレッド（みかど） エルシー714（萩沢育種） チボリ（大学農園）

※基準品種

2 耕種概要

土質～灰色低地土（埴壤土）

前作～メロン

播種日～3月29日 定植日～5月22日 収穫始日～8月11日～

栽植密度～畦幅2m×株間70cm 714株/10a当たり

3 土壌診断結果と施肥量

(1) 土壌診断結果

(mg/100g)

pH	EC	P ₂ O ₅	K ₂ O	MgO	CaO	熱水抽出N
7.06	0.150	122.5	37.7	111.4	812.5	16.8

(2) 土改資材と堆肥 (kg/10a)

堆肥～2,000kg

(3) 施肥内容 (成分量/%)

基肥～硫酸アンモニウム (21 - 0 - 0) 5月13日 全層施肥
基肥～粒状過磷酸石灰 (0 - 18 - 0) 5月13日 全層施肥
基肥～硫酸カリ (0 - 0 - 50) 5月13日 全層施肥

(4) 肥料の要素量

(kg/10a)

			N	P	K
基肥	硫酸アンモニウム	19kg	4	-	-
基肥	粒状過磷酸石灰	28kg	-	5	-
基肥	硫酸カリ	10kg	-	-	5
合計			4	5	5

4 調査項目

生育調査～播種日・発芽期・発芽率・定植日・定植時の苗質・初期生育（5月30日）

開花始期・着果日・着果率・着果部位

収量調査～収穫始期・成熟日数・一果実重量・総収量・果高・果径・赤道・肉厚

花痕部径・規格別割合

果実特性調査～裂果・腐敗果・小果他・ネット不良果・ネットの密度・糖度（Brix）

香り強さ・果肉の硬さ・食味・甘味

5 生育調査

項目	品種	摩周グリーン	シャロン2号	ライフ7号	ルピアレッド	エルシー714	チボリ
播種日		3月29日					
発芽期		4月12日				4月20日	4月14日
発芽率 (%)		100	90	100	100	55	95
定植日		5月22日					
定植時の苗質	葉数	5.2	5.8	4.9	5.7	4.4	4.8
	葉身長 (cm)	9.7	10.6	10.6	9.9	9.3	10.5
初期生育5月30日	葉数	15.2	17.9	15.2	15.8	15.4	14.9
	つる長 (cm)	82	101	113	92	90	94
開花始期		6月21日					
着果日		6月26日					
着果率 (%)		72	-	80	65	70	80
着果節位 (1果目)		11	-	12	12	11	11

6 収量調査

項目	品種	摩周グリーン	シャロン2号	ライフ7号	ルピアレッド	エルシー714	チボリ
収穫始期 (40 ~ 50%)		8月11日	-	8月11日	8月12日	8月12日	8月10日
成熟日数		47	-	47	47	48	46
果実重量 (kg/一果重)		2.75	-	3.12	3.41	2.33	2.54
総収量 (kg/10a)		5,654	-	7,128	5,829	4,658	5,803
果高 (cm)		18.1	-	20.5	18.3	17.2	18.0
果径 (cm)		17.5	-	18.2	17.6	17.4	17.9
肉厚 (cm)		2.15	-	3.5	3.5	3.5	4.0
花痕部径 (cm)		2.1	-	2.4	2.1	2.4	2.2
規格別割合 (%)	4玉	100	-	100	100	100	100
	5玉	0	-	0	0	0	0
	6玉	0	-	0	0	0	0
	7玉	0	-	0	0	0	0

※規格 4玉 2.0kg以上 5玉 1.6~2.0 kg 6玉 1.5~1.6 kg 7玉 1.0~1.3 kg

7 特性調査

項目	品種	摩周グリーン	シャロン2号	ライフ7号	ルピアレッド	エルシー714	チボリ
外観	裂果 (%)	0	100	0	38	4	43
	腐敗果 (%)	7	0	0	0	0	0
	ネット不良果 (%)	0	0	0	8	0	0
	小果他 (%)	17	0	31	11	28	0
	ネットの密度 (多5~少1)	3	-	4	4	4	3
	糖度 (Brix)	12.6	-	14.4	12.9	13.3	13.9
食味	香り強さ (強5~弱1)	3	-	3.2	3.6	2.4	2.5
	果肉の硬さ (硬5~軟1)	3	-	2.2	2.7	3.8	2.9
	甘味 (甘い5~甘くない1)	3	-	4	3.2	3.1	2.5
	食味 (良5~不良1)	3	-	3.9	3	2.6	2.7

8 病虫害防除履歴

殺虫剤	殺菌剤
散布無し	7月14日 コロマイト乳剤 1,000倍

9 試験結果概要

(1) 生育経過

播種は3月29日に12cmポットと、ポットエースを使用して行った。4月は気温が低かったため、発芽が遅くなった。特にエルシー714は発芽が遅くなった。

地温が低かったため定植が遅れ苗が大きくなりすぎ摘心時に苗にストレスを与えてしまった。

初期成育は順調に経過した。開花始期は6月21日となった。その後6月23日から1週間ほど蜜蜂を使い受粉させた。しかし受粉した実がうずらの卵大になり始めた頃に実が枯れてしまうことがあり、最終的に着果率が70~80%に落ち込んだ。

摘心は定植前日に本葉5枚から6枚の状態から子蔓2本仕立てで行った。6月14日の生育調査ではかなり旺盛につるが伸び平均が95.3cmとなり、葉数もそれに伴って増加した。

(2) 果実特性・収量調査結果

8月11日に果実特性と収量の調査を実施した。

収量では全ての品種が4玉の基準である2kg以上を超えた。中でもルピアレッドが1番重い3.41kgであるが、着果率が低いため総収量は5,829kgになった。そして、6品種中ライフ7号が重量3.12kgで着果率も今年度1番高いので、総収量が7,128kgと1番であった。

チボリとルピアレッドは3割が、シャロン2号は収穫を待たずして全ての果実が裂果してしまった。

糖度はライフ7号が14.4%と最も高く、チボリが13.9%、エルシー714が13.3%、ルピアレッドが12.9%、摩周グリーンが12.6%と続く、果高はライフ7号が20.5cmと1番高い。その他の品種は17cmから18cmになっている。果径でもライフ7号は1番大きく、18.2cmを記録した。その他の品種はおよそ17cmである。

以上を踏まえ、青玉ではライフ7号が大きく甘い品種、赤玉ではチボリが大きく甘いといえる。

(3) 考察

今年度は全体的に1果重がとて重くなった。着果率が低下した分、他の実に養分が行き渡りすぎたためと見ている。また、受粉した後に枯れてしまう原因を調べて次年度に活かしたい。

そして今年度の生育状況を見ると、とても裂果が多い。特にシャロン2号は全滅してしまっただけである。割れはじめた頃からメロン農家の方に話を伺っていたが、裂果の原因は最初の定植から活着の間に根張りを良くできるか、そして土壌の水分状況をいかにコントロールしているかが肝心だと教わった。皮の薄い可食部の多い品種ほど割れやすく、そのような種類のメロンを上手く栽培できるように経験を積もうと思う。